

アンパンマンが教えてくれる事

年末にナガシマリゾートにあるアンパンマンミュージアムを訪ねました。高知県香美市の『やなせたかし記念館 アンパンマンミュージアム』に続き、二つ目のアンパンマンミュージアムを訪ねることになりました。

私はアンパンマンに心惹かれます。孫と会場で行われていたアンパンマンショーを見ながら、アンパンマンのもつ魅力について考えてみました。アンパンマンは自分（の一部）を犠牲にして、勇気や友情を示します。アンパンマンはバイキンマンと戦いますが、相手を殺したり破壊したりはしません。戦いが終われば、ノーサイド。皆が友達です。バイキンマンともドキンちゃんとも熱い友情で結ばれています。決してスーパーヒーローではなく、悪者たちに僅差で勝ちます。時には負けてしまうこともあります。

「なんのために 生まれて なにをして生きるのか

こたえられないなんて そんなのは いやだ！

今を生きる ことで 熱いところ 燃える

だから 君は いくんだ ほほえんで」（「アンパンマンのマーチ」より）

私たちは、友達思いで、自分の力を精一杯発揮することで「世界全体の幸せに貢献しようとする」アンパンマンに拍手を送っています。友達に優しいアンパンマン。人としての生き方を考えさせられるマンガであり、絵本だと思えます。

コリアン・フレンズ (Korean friends) —嬉しかったこと—

2017年10月30日、ユネスコ「世界の記憶」に『朝鮮通信使に関する記録』が登録されました。この辺りでは名古屋市・徳川美術館（蓬左文庫）や大垣市に残る記録が登録されることになりました。私は以前から江戸時代の庶民の憧れとしての『朝鮮通信使』に関心をもち、全国に残る通信使の史跡を訪ねてきました。一宮市尾西歴史民俗資料館の舟橋、大垣市郷土館の朝鮮山車、長浜城歴史博物館の雨森芳洲、福山市鞆の浦の対潮楼、そして徳川美術館蓬左文庫の絵図など、古文書や絵巻を見てまわり、身近な地域史料から江戸時代の「誠信外交」について調べています。今回の登録は朝鮮通信使のことを皆さんに広く知って頂く機会となり、通信使のことがメジャーとなり大変嬉しくなりました。

さて、2017年は津島南小にとっても、韓国人の友人 (Korean friends) を意識した年となりました。韓国・東山初等学校との交流事業を柱として、名古屋市にある韓国領事館を窓口とした様々な韓国に関する出前授業を実施しました。ハンガルの学習と習字、折り紙、遊び体験（コンギノリ）、民画、K-POP、そして韓国料理（チヂミ）。これらの出前授業の後、11月6日には31人（教職員8名、児童23名）の友人が韓国から本校を訪ねてくれました。本校の児童と韓国の友人たちは「ウェルカムパーティー」「体験授業」「スクールランチ」「休憩時間の交流」を通して、楽しい1日を過ごしました。また校長室では教職員で「ティーチャーズ・ミーティング」を行い、日本の学校から学ぶ点や課題について話し合いました。日本の学校給食という文化も楽しんでいただきました。共通点を探すだけでなく、お互いに違ったまま認め合う、新たな人権教育のあり方・推進について考えることができました。

「五つの木（気）」の下で

平成29年度の南小のビッグニュースは、11月6日に韓国の小学校と交流会を行ったことでした。この交流会の前に6年生の皆さんは、韓国の歴史や文化について沢山学習をしました。チヂミをつくり、ハンガで習字を書き、チマチョゴリを着て、K-POPを踊りました。体験学習を通して、隣国韓国について学ぶことができました。金子みすずの「みんな違って みんないい」の詩のように、出会った人を通して、異なった文化を体感することができました。南小はまさにこのウィーク、バイリンガルな小学校となっていました。

さて皆さんは、五本の楠のもとで小学校生活を送りました。「やる気・勇気・本気・元気・根気」。どうか、この五つの「木」（「気」）を大切にしてください。そしてこれからの人生、道に迷ったり、つまずいたりした時、どうか五本の楠を訪ねて来てほしいと思います。そして、生きる力と勇気をもらってください。私の大好きな俳句をプレゼントします。

「勇気こそ 地の塩なれや 梅真白」（中村草田男）